

平成 22 年 4 月 5 月 事業報告

(平成 22 年 4 月 1 日 □ 平成 22 年 5 月 31 日)

寄附行為より

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 日本の伝統文化及び現代芸術の分野における優秀な新人及び文化・芸術の研究者に対する助成
- (2) 日本の伝統文化及び現代芸術を展示、公演する文化芸術祭の開催
- (3) 日本の伝統文化及び現代芸術の分野で著しい貢献をした者に対する顕彰
- (4) 芸術系大学等に在学する学生に対する奨学金の給付または貸与
- (5) 文化・芸術の交流を通じて国際社会の相互理解を促進する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■実施事業

1. 育英事業（寄付行為第 4 条（4））

○ 実施概要

下記のとおり、平成 22 年度育英事業の募集をおこなった。

選考委員会は 6 月 1 日のため、公益財団法人移行後の事業となる。

A) 対象

国内の芸術系大学の 3 回生・4 回生または大学院に在学し、絵画・彫刻・工芸・建築（造園を含む）・デザイン（グラフィックデザイン及び工業デザインのみ）の実技部門を専門としている学生

- B) 給付人数及び金額・・・大学生 2 名 1 名につき 1 年間 30 万円の給付
大学院生 2 名 1 名につき 1 年間 50 万円の給付

C) 4 月上旬に実技部門のある芸術系大学に応募要項を送付

D) 応募方法・・・芸術系（実技部門）の大学を通じて以下の書類を提出

書類：①奨学生願書②学科専任教官の推薦書③成績証明書、

E) 募集期間・・・平成 22 年 5 月 6 日 □ 平成 22 年 5 月 14 日当日消印有効

F) 応募状況・・・大学生 30 名 大学院生 71 名

➤ 特記事項

・本年度は昨年度に比べ 4 名の応募者増であった。経済情勢の影響が大きく関わっていると思われ、今後も増加傾向になると推測される。

・留学生の応募者が約半数に減った。

・新規応募の大学が 2 校であった。

・大学院生の応募者が大学生の倍以上となり、応募者数の差が広がっている。

➤ その他（改善事項等）：

・大学の名称変更・統合／学部名称変更などを踏まえ、案内送付先を見直し、57 校に送付した。

2. 平成 22 年度助成顕彰事業（寄附行為代 4 条(1)(3)(5)）
第 2 回「創造する伝統賞」の募集活動は 8 月以降に本格的に開始。

3. 文化藝術普及活動事業（寄附行為代 4 条(2)(5)(6)）

(1) 文化祭「杜の中の文化祭」

◎「四世今藤長十郎 長唄三味線公演」

<第4回>

実施日：平成22年4月29日（木） 開演13：30

会場：明治神宮 御苑内 隔雲亭

助成：日本財団、全日本社会貢献団体機構

後援：京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

参加費：一般3,000円 学生2,000円

来場者数：30名（招待者含む）

出演者：三味線 今藤長十郎

唄 杵屋秀子

小鼓 藤舎呂英

◎ブログ「四季おりおり □ 文化の香り、さんぽ道□」

更新：毎月 2 回（1 日、15 日）

更新回数：4 回

期間：平成 22 年 4 月 1 日□ 5 月 31 日

URL <http://blog.canpan.info/shikioriori/>

(2) ホームページ

・「ブログ 四季おりおり」

* 日本財団ブログサイト Canpan を利用。都内で見つけた季節の草花の写真を取り入れ、今年度は、四季おりおりの文学や歴史的人物などを伝えるブログを実施した。月 2 回更新。

文：伊達晟聴（香道研究家 「聞香」体験講師）

写真：前川千恵子（日本文化藝術財団）

アクセス数：約 7600（2008 年度のみ）

・ 情報開示

・ 事業告知

■ その他

○ 平成 22 年 5 月 31 日 内閣府・公益認定等委員会より「公益財団法人日本文化藝術財団として認定される。